

昭和館 巡回特別企画展

戦中・戦後のくらし

平成29年

10/21 [土] ~ 10/31 [火]

午前10時~午後8時
(最終日 午前10時~午後5時)


会場: 山形屋文化ホール (2号館6階)

所在地: 鹿児島市金生町3番1号

鹿児島展



入場
無料

主催  昭和館 〒102-0074 東京都千代田区九段南1-6-1 TEL.03-3222-2577 FAX.03-3222-2575 ホームページ <http://www.showakan.go.jp>

■特別協力/山形屋

■協賛/鹿児島県遺族連合会および日本遺族会第5ブロック

■後援/鹿児島県 鹿児島県教育委員会 鹿児島市 鹿児島市教育委員会 南日本新聞社 読売新聞西部本社 朝日新聞社
毎日新聞社 産経新聞社 **NHK**鹿児島放送局 MBC南日本放送 KTS鹿児島テレビ KKB鹿児島放送
KYT鹿児島読売テレビ エフエム鹿児島 鹿児島シティエフエム

厚生労働省委託事業

 <https://twitter.com/showakankudan>  <https://www.facebook.com/showakankudan/>



洋裁ノート
鹿児島県根占高等学校(現・鹿児島県立南大隅高等学校)農業科2年生の菊谷(旧姓相川)喜代子さんの洋裁ノート。
昭和23年(1948)



出征兵士の見送り風景・枕崎市 昭和13年(1938)
浦島屋提供・樹林舎「写真アルバム 南薩の昭和」より

昭和館巡回特別企画展

戦中・戦後のくらし鹿児島展

昭和館では、常設展示室において「戦中・戦後の国民生活上の労苦」に係る歴史的資料を展示しております。

また、このような実物資料を活用した展覧会を各地でも開催してほしいという要望があり、平成13年から各地で実施してきたところ、このたび関係機関、各位のご協力をいただき、巡回特別企画展「戦中・戦後のくらし 鹿児島展」を鹿児島市において開催する運びとなりました。

本展では、鹿児島県の実物資料を中心に、厳しい時代を生き抜いた人々が綴った手記や、その姿を記録した写真を通じ、母や子、そしてその時代に生きた人々の様々な思いや、苦難の多かったくらしを紹介します。

(おもて写真/上)女性の竹槍訓練・曾於郡志布志町(現・志布志市)
昭和20年(1945)7月
菊池俊吉撮影
(おもて写真/下)手荷物の検査を受ける引揚者の母子・始良市加治木
昭和20年(1945)12月
米国立公文書館提供


■展示内容


- I 出征～家族との別れ～ 無事を祈る
- II 戦争が始まった～戦中のくらし～ 1.さまざまな統制 2.戦中の子どもたち 3.空襲、そして終戦
- III 戦争が終わって 1.廃墟からの出発 2.遺された家族
- IV たくましく生きる～戦後のくらし～ 1.戦後の子どもたち 2.復興に向けて

■特設コーナー

- 鹿児島ポスターコーナー
- 慰霊の旅 遺骨収集、慰霊巡拝

■交通情報

【市電ご利用の場合】
市電「朝日通」・「いづろ通」より徒歩3分

【バスご利用の場合】
「金生町」バス停より徒歩3分



ポスター「史と景の国」
昭和初期

せんし せうしよ 『戦史叢書』『陸軍・海軍部隊略歴』検索・閲覧コーナー


東京の昭和館では、4階の図書室において『戦史叢書』と『部隊略歴』を電子化し、検索端末にて情報の提供を行っております。巡回特別企画展では、本館と同様の検索・閲覧を行うことが可能です。なお、『戦史叢書』は各地の図書館に所蔵されていますが、パソコン上で検索できるシステムは当館独自のものです。

※『戦史叢書』とは、防衛研究所戦史室が編纂し、朝雲新聞社より出版された公刊戦史(全102巻)です。

※『陸軍・海軍部隊略歴』は、海軍省および厚生省(現・厚生労働省)援護局の各資料をもとに作成した陸海軍部隊の編成から行動の経歴を記しています。

学校団体(小・中・高)での見学にも対応します[要予約]

生徒のみなさんに昭和館の職員が展示解説を行います。展示解説は予約制(先着順)ですので、ご希望の学校は昭和館学芸部まで直接お申し込み下さい。

 昭和館 学芸部【月曜日休館】

☎.03-3222-2577

